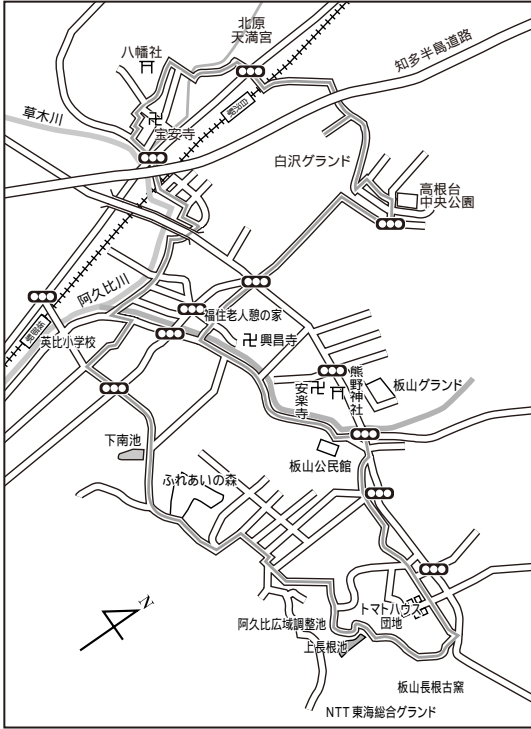


シリーズ 阿久比を歩く ⑦



ふれあいの森に咲く小梅の花

ふれあいマップを歩くシリーズの最後となる「体力づくりコース」にぶらり旅に出掛けた。
「英比小学校」をスタートしてふれあいの森」に向かう。県道名古屋半田線を横断してからの道のりは緩やかに長く坂が続く。歩き始めて間もないのに息が切れる。横を通り過ぎる車のエンジンもいささか音がにぶい。
第二チェックポイントの「ふれあ

あぐいぶらり旅

ふれあいのマップを歩く(体力づくりコース)①

ふれあいの森を後にして第三チェックポイントの「阿久比広域調整池」を目指す。南方の土地では、大規模な宅地開発が進む。今は仕事を休めているが、広大な区画にブルドーザーが点在する。間もなく新しい町並みが出来る。

「消えそうに、咲きそうなく蓄(つぼみ)が、今年も僕を待っている。目を閉じて歌う友人の声が裏返る。歌声を聞いてか、つぼみたちがクスクスと笑っているかのようだ。
梅の花が開花したとはいえ、体感温度はまだ冷たい。子どもたちは寒さを吹き飛ばすかのように芝生の広場で走り回る。とても元気、子どもはこうでなければ」と思う今日このごろ。



愛知県水道貯水施設の貯水タンク

細い道が何本もあるために、どの道を進んでいいのか分からない。道に迷う。「カーカー」とカラスが鳴き私たちの動きをのぞき込む。とても不気味だ。「水を大切に」と書かれた貯水タンクを目標に歩き、やつこのことで第三チェックポイントにたどり着く。
非公開の第四チェックポイント「板山長根古窯」の場所を遠くから眺め、第五チェックポイント「NTT東海総合グラウンド」(現在閉鎖中)の入り口付近を通り、第六チェックポイントの「トマトハウス団地」まで一気に進む。
今回のコースは十・五キロの長丁場周辺梅畑の花見をしながら休憩を取る。
「うめー梅 早く食べたい 梅干しで」(詠み人友人)
面白い句を詠んでくれたので、疲れが少し取れた。
次号につづく。